

IEC

News

No. **51**
Jun. 2025

国際友好 フェア 2025

花と緑の祭典
くす玉割り

ステージ
出演者

ボランティアの
皆さん

ハンディクラフト
テント

グルメテント

ボード
ゲーム

IEC 国際交流
ブース

5月3日(土)～4日(日)、イベント日和の快晴のもと、今回で33年目となる国際友好フェアを市民の森・見沼グリーンセンターで開催しました。

会場では、椅子席を設置した大型ステージで開会式を行い、主催者挨拶の後、交流・出展団体ブース・テントの紹介、海外姉妹友好都市との交流の歴史の紹介がありました。そのあと世界の歌唱と舞踊などのプログラムが披露されました。出演者によるショーが始まると、椅子席の周りを何重にも囲むように来場者が集まり拍手喝采でした。

また、“IEC国際交流ブース”と出展者7団体の“見て体験するブース”では、国際交流について市民の関心の高さがわかりました。IECの広報ブースではホストファミリーやボランティア活動参加の申込みがあり、子ども連れの家族には、防災クイズ、世界のボードゲーム体験、ハンドペイントやスタンプラリーに特に人気がありました。

さらに“世界のハンディクラフトブース”や“世界のグルメブース”は、計36 団体が自国の物品販売、そして飲み物や料理を提供しました。「その国の手芸品などを入手できるし、あの国の食べ物は美味しいので今年もそれを堪能しに来た」との声も聞かれ、「去年は他の用事で来られなかったので楽しみ」と語る人もいました。日射しを避け木陰で家族団らんの食事風景も見られました。

実行委員会スタッフや多数参加のボランティアの方々の頑張りと各参加団体の協力のおかげで無事にフェアを終えることができました。「春の園芸祭り」と「シビックグリーンさいたま」とあわせ「花と緑の祭典2025」として開催され大盛況のうちに、2日間の来場者は、およそ5万人でした。





私の外国自慢

アメリカ・オハイオ州トレド出身
アクセル・エルダーさん



令和7年度からの新シリーズ「お国自慢」の第1号は、アメリカ・オハイオ州トレド出身のアクセル・エルダーさんのお話です。アクセルさんは、当センター事業の国際ふれあいフェアや「キッズ英語」でも活躍しています。

まず、アクセルさんに帰国したら真っ先に食べたいものは？と聞いたら、グランマ（おばあちゃん）が作ってくれるマカロニ・チーズだそうです。今回の取材のためにグランマに頼んで作ってもらい、写真を送ってきてもらいました。おばあちゃんの愛情あふれるおいしさが伝わってきます。

次に、真っ先に食べに行きたいところは、トレドの町にあるチポツレ（CHIPOTLE）という名前のメキシカンレストランです。

日本で食べる機会がないので、写真のようなおいしそうなブリート（Burrito）やタコスをも早く食べたくて、待ち遠しいそうです。

最後に、食べ物以外では、ときいたら、トレド・マッドヘンズ（Mud Hens*1）の野球をすぐに見に行くそうです。

今シーズンまで前田健太投手が所属していたデトロイトタイガース傘下のマイナーリーグのチームですが、地元ではたいへん人気があり、今年の9月に帰国したら、シーズン終了まで応援をするそうです。

アクセルさんのようなお国自慢をしたい方は、いつでもIECにご連絡ください。

*1 Mud Hen

アメリカオオバンは、泥鶏またはオオバンとしても知られ、クイナ科の鳥。



国際ふれあいフェア 2024 にて（本人中央）



“CHIPOTLE” の料理

グランマの
マカロニ・チーズ
(Mac & Cheese)



MY ボランティア STORY



今年のスピーチ大会

今回は、国際交流センターをはじめ、たくさんのボランティアをされている藤田安子さんのお話です。

他人の為に何ができるかな？

好奇心旺盛な私は、親があきれほどボランティアをしていました。

いつから？ それは覚えていないほど！

23歳の時には、岩槻市国際交流協会で、日本文化プレゼンター＆日本語ボランティアに。成人式には着崩れ直しボランティアなど。

岩槻市が合併されると、さいたま市国際交流協会へ、現在



日本語教室学習者と花見（本人右から二人目）

も、国際交流センター&県立博物館&日本語教室&外国人への浴衣指導&多文化共生キーパーソンなどのボランティアをして、忙しい日々を送っています。



着物着付け体験会

生まれつき体が弱いので、迷惑をかけることもあります。周囲の方々の優しさに感謝しております。人が喜んでくれると嬉しくて、心の糧と元気をもらっています。

多数のイベントに参加させていただき、人との出会いに感謝するばかりです。

気付けば、国際交流と共に37年が過ぎていました。

いつも胸にあるのは、「日本で辛い思いをしないうで欲しい」、「日本に来てくれて『ありがとう』の心」。私の体が動く限り、一步一步、歩んでいきます。



趣味の琴（本人右）



「もっと自由にもっと楽しく英語を学ぼう」を合言葉に、小学生向けの講座を4月1日、2日、3日の午後で開催しました。講師は本誌「わたしの国自慢」に登場するアメリカ・オハイオ州出身のアクセル・エルダーさんです。埼玉大学大学院生で、日本語も交えながらのやさしい指導が好評でした。



アクセル先生との
なごやかな講座の
一コマ



熱心にアルファベットの
練習をする子どもたち



修了証と缶バッジももらって笑顔の子どもたち

本講座は低学年向け、高学年向けに分かれ、受講生に寄り添った学習内容で構成されていました。講座は終始、靴を脱いで車座になり、リラックスした雰囲気の中で行われました。子どもたちは、自己紹介ゲームなどで緊張をほぐし、カードを使ったり英語で歌ったりしながら、自然と発音や表現ができるようになり、いつのまにか英語の世界に入り込んで楽しみながら学んでいました。気分転換の「元気になるゲーム」では、“Stand up, Sit down, Raise hands, Jump”の掛け声に合わせて、手遊び歌“Head Shoulders Knees & Toes”では、歌に合わせて体を動かしながらノリノリで英語に触れていました。

とりわけ低学年の子供たちは元気いっぱい、「面白いからもう一度やりたい」と体全体で表現し講師を困らせるほどでした。高学年コースでは、色合せパズルやアニマルカードなどを使いながら、単語の学習に加えて簡単な文章表現まで幅を広げていました。

キッズ向け講座はひさびさの開催で、3日間連続で実施したことで、集中して学ぶことができ良かったとの声が聞かれました。終了時には受講者全員に、「がんばりましたカード」と記念の缶バッジが講師から手渡され、明るく笑顔の記念撮影でお別れしました。

はじめましての会

ともに楽しく 第一歩



細かい作業の
折り紙



出来上がりに
笑顔もこぼれます

4月19日(土) コムナーレ10階で「はじめましての会」を開催しました。さいたま市に来てまもない外国人とさいたま市民の交流会です。外国人17名、日本人8名、市民ボランティア17名の総勢42名でにぎやかな会になりました。

最初に3グループに分かれて「輪投げゲーム」です。知らない人同士ですが、ボランティアの助けを借りて、あっという間に打ち解けて、上手にできてもできなくても歓声が沸き上がります。ゲームの後は「折り紙教室」です。それぞれの人が思い思いの折り紙を選んで、巧みな日本人の手を見ながらあっという間に見事な“鶴”“カエル”“手裏剣”などが出来あがっていきます。

どこのテーブルからも楽しく会話する声が絶え間なく、様々な言語が飛び交っていました。参加した外国人、さいたま市民ともに有意義で、笑顔満載の「はじめましての会」となりました。

輪投げゲームに歓声!!



同じグループの
一投に力が入ります



他のグループの
得点も気になります

みんなのあそびば
Let's Play Together

～世界の子どもの交流 / Kids from around the world～



折り紙作りする向こうの奥で母親トーク

2月22日(土)IEC多目的室で世界の子どもたちが集まるイベントを行いました。企画から運営までをユース国際ボランティア活動に参加する高校生が担当。先着順で5歳から6歳の子どもたち定員10名としたところ、さいたま市在住の中国やイギリスやラオスの子どもたちも応募のなか、計11名の参加となりました。

まず、名札作り。折り紙づくりに入ると子どもたちはにぎやかになり、「子どもたちは、はじめ話してくれなかったけれども、慣れてくるとだんだん話してくれるようになって嬉しかった」と進行役の高校生の感想がありました。鶴やサイコロをつくり、紙飛行機をとばすなど楽しそうでした。中休みのお茶菓子タイムをはさみ、付き添いの親たちは盛んに遊ぶ子どもたちを傍らで見ながら、情報交換を行っていました。

終わりに、子どもたちは、親そして関係者全員とともに集合写真を撮り、名残惜しそうにThank you、またね!と会場を後にしました。楽しく交流した2時間でした。



紙飛行機作りを教える高校生ボランティア



折り紙作りしながら一緒におしゃべり



子どもたちと一緒に記念写真



親同士でトーク風景

おしらせ

多言語生活相談

国際交流センターでは、ボランティアスタッフによる外国人のための簡易生活相談を行っています。対応可能言語は、英語、中国語、韓国・朝鮮語です。*各言語の相談時間は以下の通りです。

中国語
担当者 国際交流員
日時 毎週火曜日 9:00~12:00/13:00~15:00 (受付は14:00まで) ※祝日休

英語
担当者 国際交流員
日時 毎週水曜日 9:00~12:30/13:00~14:30 (受付は14:00まで) ※祝日休

韓国・朝鮮語
担当者 国際交流員
日時 毎週木曜日 9:00~12:00/13:00~15:00 (受付は14:00まで) ※祝日休

*上記の曜日、時間帯以外はすべて日本語での対応となります。

簡易生活相談 (基本的には日本語での対応となります)
担当者 市民ボランティア <日替わりで対応>
詳細は各窓口にお問い合わせください。



【生活相談窓口】

TEL 048-887-1506
FAX 048-887-1505



新所長を迎え、国際交流センター事務局が新たにスタート!



4月1日より事務局新所長の山本直洋(後列中央)が着任しました。私たち事務局のメンバーは、各種事業の運営チームと情報を共有し、協力・連携しながら事業を進めております。これからも、市民の皆さんが参加しやすくなるような、楽しく、親しみやすいセンターを目指してまいりますので、お気軽にコムナーレ9階の国際交流センターにお立ち寄りください。



IEC NEWS 50号 編集後記 の答え

【それにつけても金の欲しさよ】

有名な俳句のあとに「それにつけてもカネの欲しさよ」を続ける江戸時代の遊びを「金欲し付合(つけあい)」というそうです。

*五月雨を あつめて早し 最上川

それにつけても カネの欲しさよ

他にも短歌や俳句を狂歌にする為の下の句の定型句があるようですので皆様も何か見つけてみてください。



公益社団法人 さいたま観光国際協会
国際交流センター

Saitama Tourism and International Relations Bureau (STIB)
International Exchange Center (IEC)

〒330-0055 さいたま市浦和区東高砂町11-1 コムナーレ9F (JR浦和駅東口 浦和パルコ上)

TEL 048-813-8500 FAX 048-887-1505

E-mail iec@stib.jp URL https://stib.jp/international/

